



MIDI KEYBOARD CONTROLLER A-88MKII

取扱説明書



取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。基本的な操作方法について説明しています。



PDF マニュアル (Web からダウンロード)

- **A-88MKII コントロール・マニュアル**
A-88MKIIコントロールについて解説しています。



PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<https://www.roland.com/jp/manuals/>



2. 製品名「A-88MKII」を選んでください。



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.15)と「使用上のご注意」(P.16)をよくご覧ください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2019 Roland Corporation

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

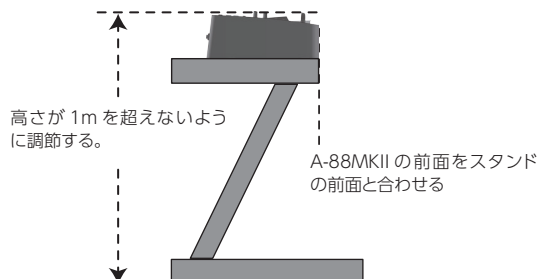
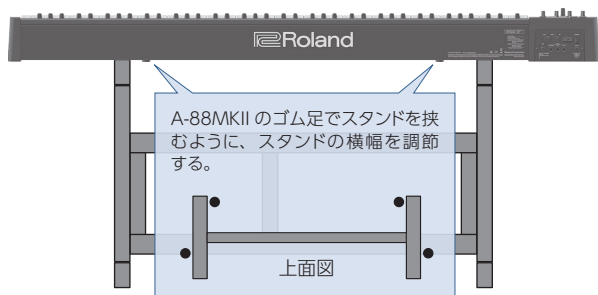
はじめに

スタンドに設置する

A-88MKII をスタンドに設置するときは、当社製のスタンド KS-10Z、KS-12 をご使用ください。以下のように A-88MKII を設置します。取扱説明書の指示どおりに設置してください。正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

※ スタンドに設置するときは、指などを挟まないよう、十分にご注意ください。

KS-10Z



KS-12



電源を入れる

※ 正しく接続したら (P.5) 必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. A-88MKII → 接続した機器の順番で、電源を入れます。
2. 接続している機器の電源を入れて音量を適当な位置まであげます。

※ A-88MKII をパソコンに接続していないときは、再生や操作を止めてから 4 時間後に自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。
自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください。

- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

電源を切る

1. 接続した機器 → A-88MKII の順番で、電源を切ります。

一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)

A-88MKII をパソコンに接続していないときは、再生や操作を止めてから 4 時間後に自動的に電源が切れます (工場出荷時の設定)。本機の電源が自動的に切れないようにするには、「AUTO OFF」の設定を「OFF」に変更してください。

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に [MISC] と表示されている鍵盤を押します。
3. OCTAVE [-] [+] ボタンで設定します。

パラメーター	ボタン	設定値/説明
MISC	OCTAVE [-]	OFF: 電源は自動的に切れません。
	OCTAVE [+]	ON (初期値): A-88MKII をパソコンに接続していないときは、再生や操作を止めてから 4 時間後に自動的に電源が切れます。

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

目次

はじめに	2
◇ スタンドに設置する	2
◇ 電源を入れる	2
電源を切る	2
◇ 一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オート・オフ)	2
主な仕様	3
各部の名称とはたらき	4
◇ トップ・パネル	4
◇ リア・パネル (機器の接続)	5
工場出荷時の状態に戻す (FACTORY RESET)	5
A-88MKII の概要	6
ゾーンの設定 (FUNCTION)	7
◇ MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)	7
◇ バンク・セレクト MSB / LSB を設定する (BANK MSB / LSB)	7
◇ ゾーンの出力先を設定する (OUTPUT)	7
演奏する	8
◇ ベロシティー・カーブを設定する (VELO CURVE)	8
◇ ゾーンや鍵域を設定する (ゾーン設定)	8
1 つの音色で演奏する (シングル)	8
複数の音色を重ねて演奏する (レイヤー)	8
鍵域を指定して鳴らす音色を変える (スプリット)	8
ゾーンを指定してコントローラーを送信する (ターゲット・ゾーン)	9
◇ オクターブを切り替える (オクターブ・シフト)	9
◇ 半音単位で音の高さを変える (トランスポーズ)	9
◇ つまみでコントロール・チェンジを送信する	9

◇ パッドで MIDI メッセージを送信する	10
パッドで音色を変える (Program Change)	10
パッドでコントロール・チェンジを送信する (Cc / Control Change)	10
パッドで音を鳴らす (Note On)	10
◇ アルペジオ演奏する	11
アルペジオのステップを変更する (ARPEGGIATOR STEP)	11
音の長さを変更する (ARPEGGIATOR GATE)	11

設定を保存する (SNAP SHOT)	12
◇ スナップ・ショットを呼び出す	12
◇ スナップ・ショットを保存する	12

システム設定 (FUNCTION)	13
◇ 鍵盤のベロシティー値を設定する (KEY VELO)	13
◇ USB 接続中はサスペンドしないようにする (NO SUSPEND)	13
◇ USB ドライバーを選ぶ (DRIVER)	13
◇ ペダルの動作を設定する (CTRL DIR)	13
◇ パッドの動作を切り替える (ラッチ / モーメンタリー)	14
◇ つまみにコントローラー・ナンバーを割り当てる	14
◇ ペダルを使ってサウンドを変更する	14
◇ パッドにプログラム・チェンジ・メッセージを割り当てる (PROG CHG)	14
◇ パッドにコントロール・チェンジ・メッセージを割り当てる (CC)	14
◇ パッドにノート・メッセージを割り当てる (NOTE)	14
◇ 鳴りやまない音を止める (PANIC)	14

安全上のご注意	15
---------	----

使用上のご注意	16
---------	----

主な仕様

ローランド A-88MKII : MIDI キーボード・コントローラー

鍵盤	88 鍵 (PHA-4 スタンダード鍵盤 : エスケープメント付き、象牙調)
電源	USB COMPUTER 端子より取得 AC アダプター
消費電流	260mA (USB) 300mA (AC アダプター)
外形寸法	1,429 (幅) × 274 (奥行) × 119 (高さ) mm
質量	17.5kg
付属品	取扱説明書 USB Type-C to USB Type-C ケーブル USB Type-C to USB A タイプ・ケーブル 保証書 ローランド ユーザー登録カード

別売品	キーボード・スタンド (KS-10Z、KS-12) ペダル・ユニット (RPU-3) ダンパー・ペダル (DP-10) ペダル・スイッチ (DP-2) エクスプレッション・ペダル (EV-5) AC アダプター (PSB-1U)
-----	---

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

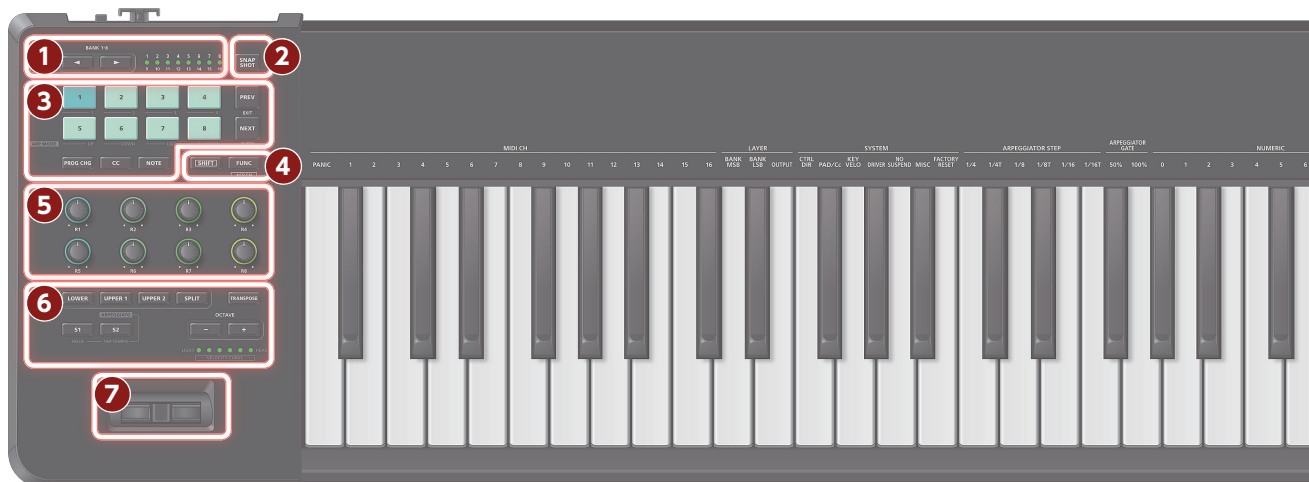
Español

Português

Nederlands

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 パッド・コントロール

BANK [◀] [▶] ボタン

バンク 1 ～ 8 を切り替えます。

[SHIFT] ボタンを押しながら BANK [◀] [▶] ボタンを押すと、バンク 9 ～ 16 に切り替えることができます。

BANK インジケーター

選択中のバンクが点灯します。1 ～ 8 白色、9 ～ 16 赤色

2

[SNAP SHOT] (WRITE) ボタン

アサイン設定やゾーン設定をスナップ・ショットとしてユーザー・メモリーに保存したり、呼び出したりします。

3

PAD [1] ～ [8]

割り当てられたメッセージを送信するときに使います。

[PREV] (EXIT) ボタン

プログラム・チェンジを 1 つ前に戻します。

また、設定をキャンセルするときに使います。

[NEXT] (ENTER) ボタン

プログラム・チェンジを 1 つ次に送ります。

また、設定を決定するときに使います。

[PROG CHG] ボタン

パッドでプログラム・チェンジが送信できるようになります。

[CC] ボタン

パッドでコントロール・チェンジが送信できるようになります。

[NOTE] ボタン

パッドでノートが送信できるようになります。

4

[SHIFT] ボタン

他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を実行します。

[FUNC] (ASSIGN) ボタン

このボタンを押して点灯させて、鍵盤を押すことで MIDI チャンネルを変更したり、プログラム・ナンバーを変更したりします (P.7)。

5 アサインブル・コントロール

[1] ～ [8] つまみ

つまみを回すと、割り当てた機能が使えます。

6 ゾーン・コントロール

3 つの音色を同時に重ねて演奏 (レイヤー) できたり、ある鍵を境に鍵盤右側と左側で違う音色を演奏 (スプリット) できたりします (P.8)。

[LOWER] [UPPER1] [UPPER2] ボタン

各ゾーンをオン (ボタン点灯) / オフ (ボタン消灯) します。

[SPLIT] ボタン

スプリットがオン (ボタン点灯) のとき、鍵域を分けて演奏します。

[S1] [S2] ボタン

ボタンを押すと、コントロール・チェンジ・メッセージを送出します。

初期値: [S1] CC#80、[S2] CC#81

[TRANPOSE] ボタン

[TRANPOSE] ボタンを押している間、OCTAVE/TRANPOSE インジケーターと OCTAVE [-] [+] ボタンの機能が切り替わります。

[TRANPOSE] ボタンがオンのときトランスポーズは有効、オフのときは無効になります。

OCTAVE [-] [+] ボタン

鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上下に変更します。

OCTAVE / TRANPOSE インジケーター

オクターブやトランスポーズの値を表示します。

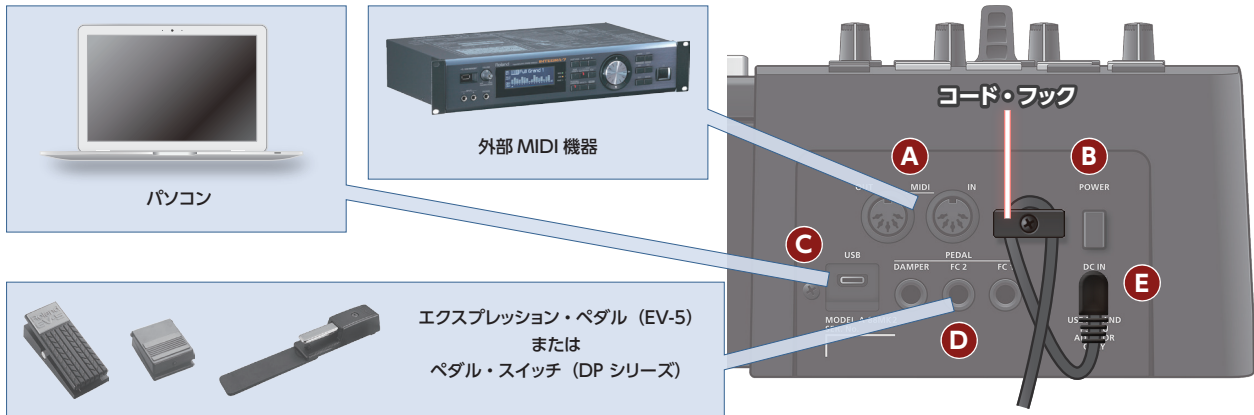
7 ピッチ・ベンド／モジュレーション

ピッチ・ベンド／モジュレーション・レバー

ピッチ (音の高さ) を変化させたり、ビブラートをかけたりします。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

**A MIDI (IN / OUT) 端子**

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。

注意

スナップ・ショットのセーブ／ロード中は、MIDI IN からのデータが滞る場合があります。

B [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします (P.2)。

C USB 端子 (Type C)

USB ケーブルを使用して、パソコンの USB 端子へ接続します。USB MIDI 機器として動作します。ドライバのインストールは不要です。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

D ペダル端子

別売のローランド DP シリーズ／EV-5 を接続します。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

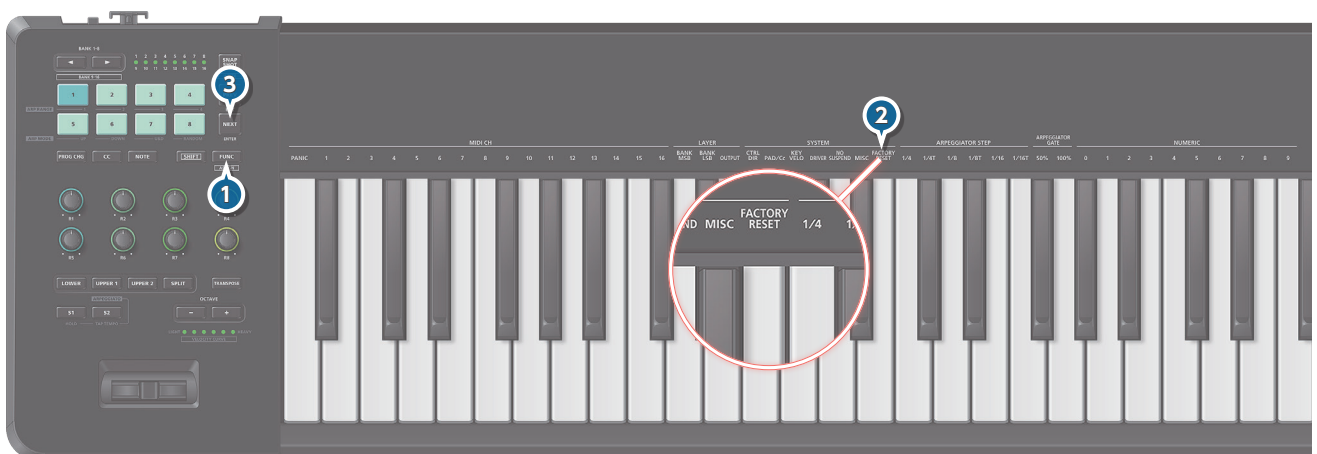
※ エクスプレッション・ペダルを使うときは、専用アプリでの設定が必要です。

E DC-IN 端子

別売の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。

工場出荷時の状態に戻す (FACTORY RESET)

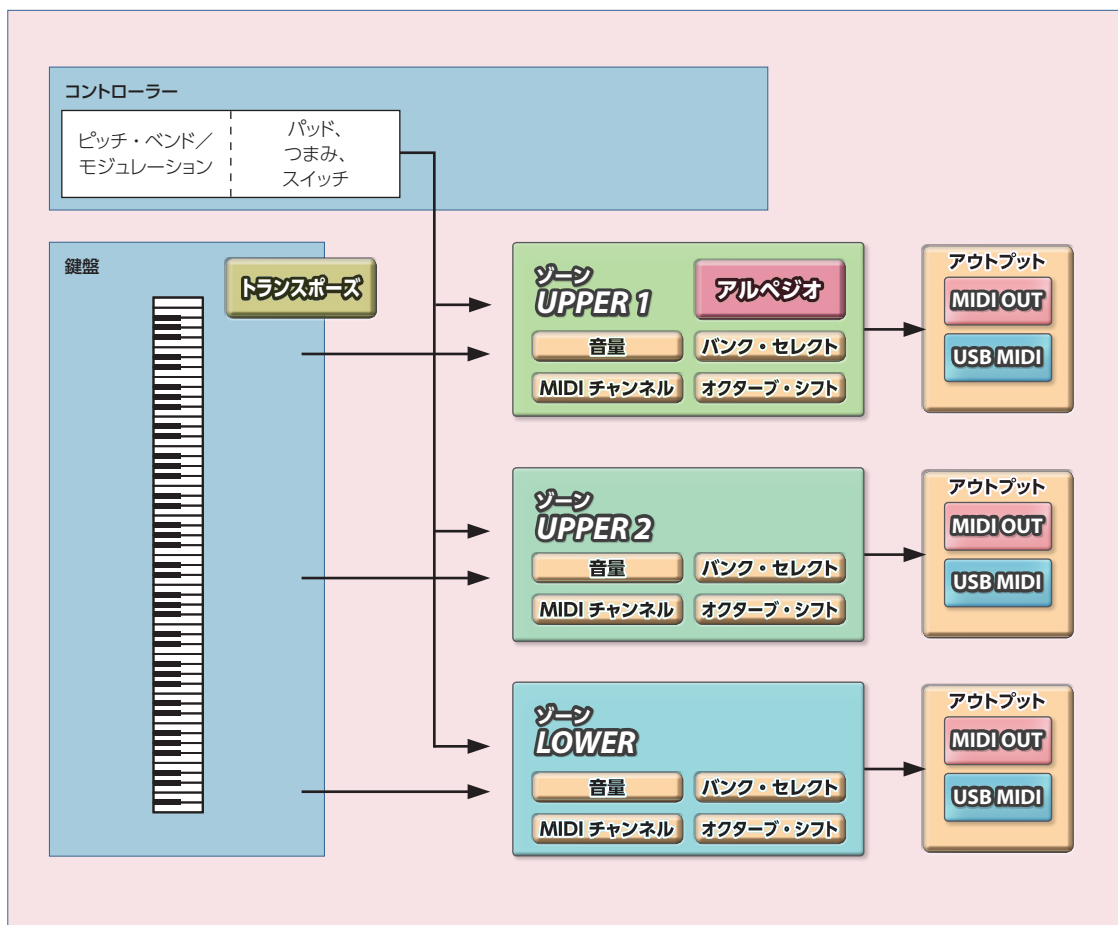


1. [FUNC] ボタンを押します。

2. 上に「FACTORY RESET」と表示されている鍵盤を押します。

3. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

A-88MKII の概要



3つのゾーン (LOWER、UPPER 1、UPPER 2)

A-88MKII は鍵盤の設定を LOWER、UPPER 1、UPPER 2 の3つのゾーンに記憶します。

鍵盤の設定とは、出力先、MIDI チャンネル、音量、バンク・セレクト、オクターブ・シフトです。

ゾーンが記憶する設定

出力先 (OUTPUT)

- ⇒ 「ゾーンの設定 (FUNCTION)」 (P.7) → 「OUTPUT」
出力先はドライバーの設定「USB ドライバーを選ぶ (DRIVER)」 (P.13) によってポート名が異なります。

GENERIC の場合

ポート名	説明
A-88MK2 ポート 1	鍵盤、コントロール
A-88MK2 ポート 2	MIDI (IN / OUT) 端子 (P.5)

専用のドライバーの場合

ポート名	説明
A-88MK2	鍵盤、コントロール
A-88MK2 MIDI	MIDI IN / OUT
A-88MK2 ポート 2	MIDI (IN / OUT) 端子 (P.5)

MIDI チャンネル

- ⇒ 「ゾーンの設定 (FUNCTION)」 (P.7) → 「MIDI CHANNEL」

音量 (VOLUME)

コントロール・チェンジ (CC#7)

バンク・セレクト (MSB/LSB)

- ⇒ 「ゾーンの設定 (FUNCTION)」 (P.7) → 「Bank Select MSB / LSB」

オクターブ・シフト

- ⇒ 「オクターブを切り替える (オクターブ・シフト)」 (P.9)

ゾーンの設定 (FUNCTION)

MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)

MIDI サウンドモジュールでサウンドを再生するには、A-88MKII の MIDI 送信チャンネルが MIDI サウンドモジュールの MIDI 受信チャンネルと一致している必要があります。

注意

電源を切っても設定が記憶されます。



1. [FUNC] ボタンを押します。

ターゲットのゾーン・ボタンが点滅します。他のゾーン・ボタンを押すと、ターゲットを変えることができます。

2. 上に「MIDI CH 1～16」と表示されている鍵盤を押します。

バンク・セレクト MSB / LSB を設定する (BANK MSB / LSB)



1. [FUNC] ボタンを押します。

ターゲットのゾーン・ボタンが点滅します。他のゾーン・ボタンを押すと、ターゲットを変えることができます。

2. 上に「BANK MSB」または「BANK LSB」と表示されている鍵盤を押します。

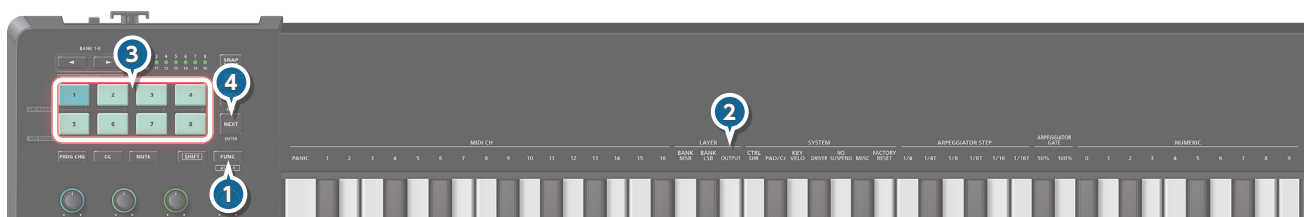
3. 上に「NUMERIC (0～9)」と表示されている鍵盤を押して値を入力します。

設定範囲：0～127

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

パッドでプログラム・チェンジを変更するたびに、MSB と LSB が一緒に送信されます。

ゾーンの出力先を設定する (OUTPUT)



1. [FUNC] ボタンを押します。

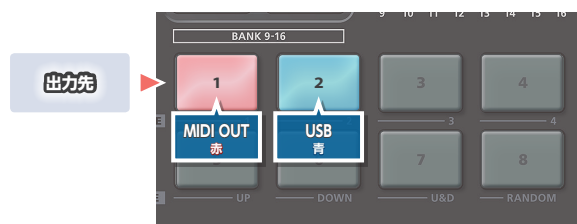
ターゲットのゾーン・ボタンが点滅します。他のゾーン・ボタンを押すと、ターゲットを変えることができます。

2. 上に「OUTPUT」と表示されている鍵盤を押します。

3. パッド [1] [2] を押して設定します。

パッド	点灯	消灯
1	MIDI OUT から出力します。	出力しません。
2	USB 端子から出力します。	

パッドのみかた



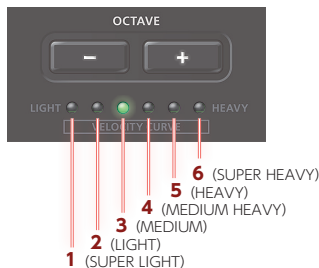
4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

演奏する

ベロシティー・カーブを設定する (VELO CURVE)

1. [SHIFT] ボタンを押しながら OCTAVE [-] [+] ボタンで設定します。

設定範囲：1～6



パラメーター	設定値	説明
VELO CURVE	1 (SUPER LIGHT)	SUPER LIGHT: LIGHT よりもさらに軽い設定です。
	2 (LIGHT)	LIGHT: キーボードを軽いタッチに設定します。フォルテッシモ (ff) の演奏は通常よりも力強い感じで演奏できるので、キーボードは軽く感じられます。この設定により、子供でも簡単にプレイできます。
	3 (MEDIUM)	MEDIUM (初期値): キーボードを標準タッチに設定します。あなたは最も自然なタッチで演奏することができます。これはアコースティックピアノの感触に最も近いです。
	4 (MEDIUM HEAVY)	MEDIUM HEAVY: ローランドの電子ピアノの標準的なキー・タッチに近いです。
	5 (HEAVY)	HEAVY: キーボードを強く触るように設定します。フォルテッシモ (ff) を演奏するには、通常よりも力強くキーボードを指で押さなければならないので、キーボードのタッチはより重く感じられます。ダイナミックな指づかいによって、演奏の表現がより豊かになります。
	6 (SUPER HEAVY)	SUPER HEAVY: HEAVY よりもさらに重い設定です。

2. 元に戻すときは、[SHIFT] ボタンを押しながら OCTAVE [-] [+] ボタンを同時に押します。

ゾーンや鍵域を設定する (ゾーン設定)

A-88MKII は MIDI チャンネル、オクターブ・シフトなどの鍵盤の設定を LOWER、UPPER1、UPPER2 の 3 つのゾーンに記憶します。

1 つの音色で演奏する (シングル)

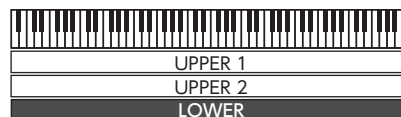
1 つのゾーンのみで演奏します。



1. [SPLIT] ボタンを押して消灯させます。
2. 音を鳴らしたいゾーンのボタン ([UPPER 1] [UPPER 2] [LOWER]) を 1 つ押して、点灯させます。

複数の音色を重ねて演奏する (レイヤー)

ゾーン・ボタンを押す順番に従って、最大 3 つのレイヤー (LOWER、UPPER 1、UPPER 2) を使ってサウンドを組み合わせることができます。



1. [SPLIT] ボタンを押して消灯させます。
2. 音を重ねたいゾーンのボタン ([UPPER 1] [UPPER 2] [LOWER]) を同時に押して、点灯させます。

鍵域を指定して鳴らす音色を変える (スプリット)

ある鍵を境に鍵盤が右側と左側に分かれることを「スプリット」といい、ゾーンが分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。

1. [SPLIT] ボタンを押しながら、[UPPER 1] [UPPER 2] [LOWER] ボタンを同時に押して点灯させます。

スプリット・ポイントの設定に応じて、鍵盤を 2 分割 / 3 分割して演奏することができます。

2. スプリットを終了するときは、もう一度 [SPLIT] ボタンを押して消灯させます。

2 分割 (スプリット+レイヤー)



鍵盤右側で鳴るゾーンは UPPER1/2 (レイヤー)、鍵盤左側で鳴るゾーンは LOWER (シングル) で、スプリット・ポイントの鍵は LOWER に含まれます。

ゾーンを指定してコントローラーを送信する (ターゲット・ゾーン)

スプリット演奏中にゾーンを指定してコントローラーを送信することができます。

1. 送信したい [UPPER 1] [UPPER 2] [LOWER] ボタンを押します。

明るく点灯します。

2. 演奏します。

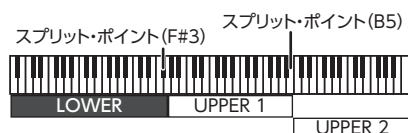
明るく点灯しているゾーンに、パッドやつまみなどのコントローラー情報が送信されます。

音域の分かれる位置を変える (スプリット・ポイント)

1. [SPLIT] ボタンを押しながら、分割したい位置の鍵盤を押します。

スプリット・ポイントの鍵は LOWER に含まれます。

3 分割 (スプリット・ポイントは2つ)



2 分割で設定したスプリットの UPPER1/2 ゾーンをさらに分割して、鍵盤を 3 つに分けて演奏することもできます。鍵盤右側が UPPER2、中央が UPPER1、左側が LOWER です。

3 分割する (スプリット・ポイント)

1. [SPLIT] ボタンと [SHIFT] ボタンを押しながら、2 つ目に分割したい位置の鍵盤を押します。

2 つ目のスプリット・ポイントの鍵は UPPER1 に含まれます。

2. 2 分割に戻るときは、[SPLIT] ボタンと [SHIFT] ボタンを押しながら、最高音 (または最低音) の鍵盤を押します。

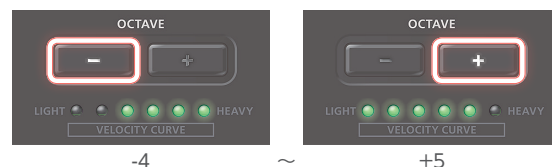
オクターブを切り替える (オクターブ・シフト)

鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することができます。

1. OCTAVE [-] [+] ボタンを押します。

ボタンを押すたびに 1 オクターブ変わります。現在の設定は、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターで確認できます。

設定値: -4 ~ 5 オクターブ



2. 元に戻るときは、[+] ボタンと [-] ボタンを同時に押します。

オクターブ・シフトが 0 に戻ります。

半音単位で音の高さを変える (トランスポーズ)

鍵盤の音域を半音単位で移調することができます。

1. [TRANSPOSE] ボタンを押しながら OCTAVE [-] [+] ボタンを押します。

ボタンが点灯しトランスポーズがオンになります。

ボタンを押すたびに半音変わります。現在の設定は、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターで確認できます。

設定値: -6 ~ 5



2. トランスポーズをオフにするときは、[TRANSPOSE] ボタンを押して消灯させます。

3. 元に戻るときは、[TRANSPOSE] ボタンを押しながら [+] ボタンと [-] ボタンを同時に押します。

トランスポーズ設定が 0 に戻ります。

つまみでコントロール・チェンジを送信する

つまみにはローランドのプラグイン・シンセサイザーの主要パラメーターがあらかじめ割り当てられています。

[SHIFT] ボタン+ [FUNC] ボタンで好みのパラメーターをつまみに割り当てることができます。

➡ 「つまみにコントローラー・ナンバーを割り当てる」 (P.14)

パッドで MIDI メッセージを送信する

パッドで音色を変える (Program Change)

1. [PROG CHG] ボタンを押します。

パッド 1 ～ 8 が暗く点灯します。

2. バンクを選びます。

⇒ 「バンクの選びかた」 (P.10)

3. パッドを押してプログラム・チェンジを送信します。

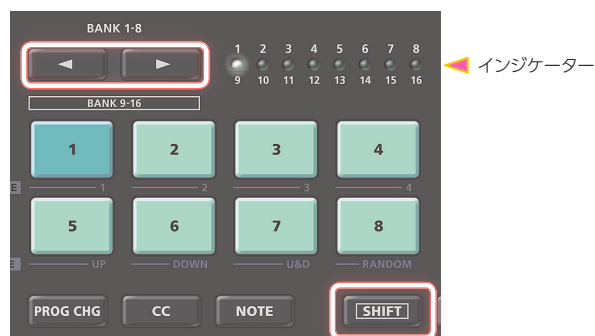
パッドが赤く点灯します。

⇒ 「音色の選びかた」 (P.10)

メモ

[NEXT] (ENTER) ボタンを押して、順番にプログラム・チェンジを送ることもできます。

バンクの選びかた



バンク	操作	インジケーターの色
1 ～ 8	BANK [◀] [▶] ボタンを押します。	白
9 ～ 16	[SHIFT] ボタンを押しながら、BANK [◀] [▶] ボタンを押します。	赤

音色の選びかた

パッド [1] ～ [8] を押します。

バンク／パッド対応

バンク (インジケーターの色)	パッド							
	1	2	3	4	5	6	7	8
1 (白)	0	1	2	3	4	5	6	7
2 (白)	8	9	10	11	12	13	14	15
3 (白)	16	17	18	19	20	21	22	23
4 (白)	24	25	26	27	28	29	30	31
5 (白)	32	33	34	35	36	37	38	39
6 (白)	40	41	42	43	44	45	46	47
7 (白)	48	49	50	51	52	53	54	55
8 (白)	56	57	58	59	60	61	62	63
9 (赤)	64	65	66	67	68	69	70	71
10 (赤)	72	73	74	75	76	77	78	79
11 (赤)	80	81	82	83	84	85	86	87
12 (赤)	88	89	90	91	92	93	94	95
13 (赤)	96	97	98	99	100	101	102	103
14 (赤)	104	105	106	107	108	109	110	111
15 (赤)	112	113	114	115	116	117	118	119
16 (赤)	120	121	122	123	124	125	126	127

パッドでコントロール・チェンジを送信する (Cc / Control Change)

1. [CC] ボタンを押します。

パッド 1 ～ 8 が暗く点灯します。

2. バンクを選びます。

⇒ 「バンクの選びかた」 (P.10)

3. パッドを押してコントロール・チェンジを送信します。

パッドが青く点灯します。

※ ラッチかモーメンタリーかは FUNCTION (P.14) で選ぶことができます。

「momentary」の場合、パッドを押している間点灯します。

「latch」の場合、パッドを押すたびに点灯／消灯を交互に繰り返します。

パッドで音を鳴らす (Note On)

1. [NOTE] ボタンを押します。

パッド 1 ～ 8 が暗く点灯します。

2. バンクを選びます。

⇒ 「バンクの選びかた」 (P.10)

3. パッドを押してノートを送信します。

パッドがオレンジ色に点灯します。

押している間、PAD LED を点灯させます。

アルペジオ演奏する

「アルペジオ」とは、和音を分散して鳴らす演奏方法です。

ゾーン「UPPER1」に送られた演奏情報がアルペジオに送られます (P.6)。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [UPPER1] (ARPEGGIO) ボタンを押して点灯させます。

アルペジオがオンになり、パッドが緑色に点灯します。

2. パッド [1] ～ [4] (ARP RANGE) でアルペジオの範囲を選びます。

パッド	ARP RANGE	説明
1	1 オクターブ	アルペジオの音域をオクターブ単位で選びます。
2	2 オクターブ	
3	3 オクターブ	
4	4 オクターブ	

3. パッド [5] ～ [8] (ARP MODE) でアルペジオのパターンを選びます。

パッド	ARP MODE	説明
5	UP	押した鍵の低い方から順番に鳴ります。
6	DOWN	押した鍵の高い方から順番に鳴ります。
7	U&D (UP & DOWN)	押した鍵の低い方から高い方へ、さらに折り返して低い方へ順番に鳴ります。 UP の最後の音は DOWN の最初の音です。
8	RND (RANDOM)	押した鍵の音がランダムに鳴ります。

4. [S2] (TAP TEMPO) ボタンを押して、テンポを変更します。

※ DAW が起動すると、DAW のテンポに同期します。

※ [S1] (HOLD) ボタンを押すと、鍵盤から指を離しても音が切れずに鳴り続けます。

5. アルペジオをオフにするときは、もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [UPPER1] (ARPEGGIO) ボタンを押します。

アルペジオのステップを変更する (ARPEGGIATOR STEP)

1 ステップの音の長さ（分解能）を変更できます。

1. [FUNC] ボタンを押します。

2. 上に「ARPEGGIATOR STEP」と表示されている鍵盤を押します。

パラメーター	鍵盤	説明
ARPEGGIATOR STEP	1/4	4 分音符
	1/4T	3 連 4 分音符
	1/8	8 分音符
	1/8T	3 連 8 分音符
	1/16	16 分音符
	1/16T	3 連 16 分音符

音の長さを変更する (ARPEGGIATOR GATE)

レガートやスタカートのように音の長さを変更できます。

1. [FUNC] ボタンを押します。

2. 上に「ARPEGGIATOR GATE」と表示されている鍵盤を押します。

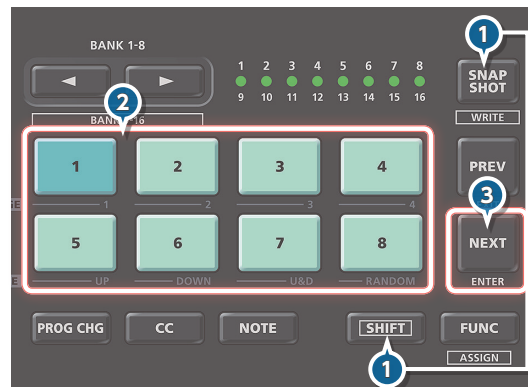
パラメーター	鍵盤	説明
ARPEGGIATOR GATE	50%	音符の半分の長さを発音します（スタカート）。
	100%	音符の長さいっぱいまで発音します（レガート）。

設定を保存する (SNAP SHOT)

A-88MKII は、ゾーンや操作子などの設定をスナップ・ショットとしてユーザー・メモリーに保存することができます (最大 8 つまで)。

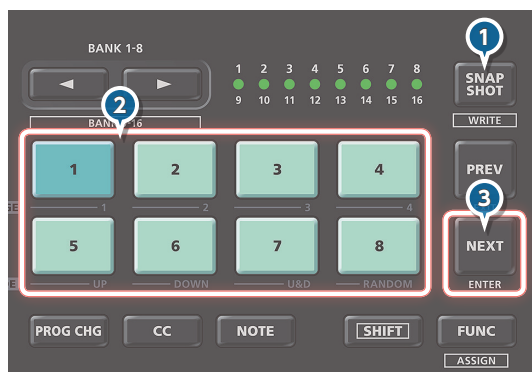
スナップ・ショットを保存する

現在の設定をスナップ・ショットに書き込むことができます。



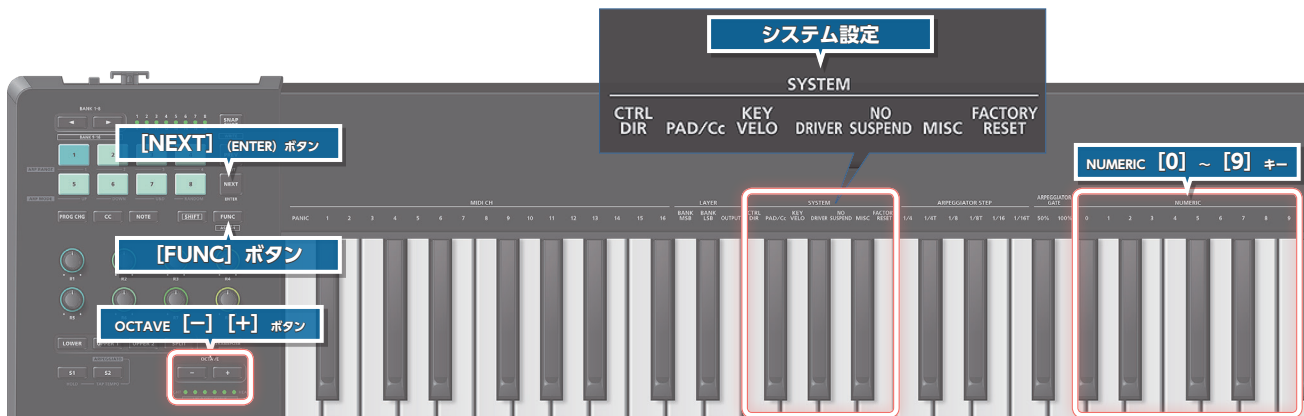
1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[SNAP SHOT]** ボタンを押します。
2. スナップ・ショットを書き込むパッドを指定します。
パッドと **[NEXT]** (**ENTER**) ボタンが点滅します。
3. **[NEXT]** (**ENTER**) ボタンを押します。
設定が書き込まれます。

スナップ・ショットを呼び出す



1. **[SNAP SHOT]** ボタンを押して、スナップ・ショットをオンにします。
すで書き込まれているパッドは淡い白色に点灯します。
ユーザー・メモリーを呼び出すことができます。
2. パッドを使用してスナップ・ショットを呼び出す番号を指定します。
パッドと **[NEXT]** (**ENTER**) ボタンが点滅します。
3. **[NEXT]** (**ENTER**) ボタンを押します。
設定が読み込まれます。

システム設定 (FUNCTION)



鍵盤のベロシティ値を設定する (KEY VELO)

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に「KEY VELO」と表示されている鍵盤を押します。
3. 上に「NUMERIC (0 ~ 9)」と表示されている鍵盤で値を入力します。

パラメーター	設定値	説明
KEY VELO	0 (TOUCH)	TOUCH (初期値) : 鍵盤を弾く強さに応じたベロシティ値が送信されます。
	1 ~ 127 (固定値)	固定値 : 鍵盤を弾く強さに関係なく設定したベロシティ値が送信されます。

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

USB 接続中はサスペンドしないようにする (NO SUSPEND)

パソコンと USB 接続しているときは、設定を維持したままで省電力モード (休止状態) に切り替えることができます (サスペンド)。

作業中にサスペンドしないようにするときは、「NO SUSPEND」を選びます。

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に「NO SUSPEND」と表示されている鍵盤を押します。
3. OCTAVE [-] [+] ボタンで設定します。

パラメーター	ボタン	設定値/説明
NO SUSPEND	OCTAVE [+]	SUSPEND (初期値) : サスペンドします。
	OCTAVE [-]	NO SUSPEND : サスペンドしません。

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

USB ドライバーを選ぶ (DRIVER)

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に「DRIVER」と表示されている鍵盤を押します。
3. OCTAVE [-] [+] ボタンで設定します。

パラメーター	ボタン	設定値/説明
DRIVER	OCTAVE [+]	GENERIC (初期値) : オペレーティング・システムによって提供される汎用ドライバーが使用されます。 専用のドライバーがない場合、または専用のドライバーをインストールできない場合は、これが便利です。
	OCTAVE [-]	専用のドライバー : 専用のドライバーを使用します。

※ Windows で A-88MK2 コントロールをお使いになるときは、専用のドライバーを選んでください。

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

※ 設定変更後は、電源を入れ直してください。設定が有効になります。

ペダルの動作を設定する (CTRL DIR)

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に「CTRL DIR」と表示されている鍵盤を押します。
3. OCTAVE [-] [+] ボタンで設定します。

パラメーター	ボタン	設定値/説明
CTRL DIR	OCTAVE [+]	POSITIVE (初期値) : ペダルを踏むと値が大きくなります。
	OCTAVE [-]	REVERSED : ペダルを踏むと値が小さくなります。

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

パッドの動作を切り替える (ラッチ/モーメンタリー)

※ [CC] ボタンが点灯しているときのみ操作できます。

パッドを押してコントロール・チェンジを送るときに、パッドを押している間だけオンにするか (モーメンタリー)、パッドを押すたびにオンとオフを切り替えるか (ラッチ) を選びます。

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に [PAD/Cc] と表示されている鍵盤を押します。
3. OCTAVE [-] [+] ボタンで設定します。

パラメーター	ボタン	設定値/説明
PAD/Cc	OCTAVE [+]	モーメンタリー: パッドを押している間だけオンになります。
	OCTAVE [-]	ラッチ (初期値): パッドを押すたびにオン/オフが切り替わります。

4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

つまみにコントローラー・ナンバーを割り当てる

1. [SHIFT] ボタンを押しながら、[FUNC] ボタンを押します。
割り当て可能なパッドとつまみが点滅します。
2. 割り当てたいつまみを動かして選びます。
3. 上に [NUMERIC (0 ~ 9)] と表示されている鍵盤を押して、コントローラー・ナンバーを設定します。
設定範囲: 0 ~ 127
4. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

ペダルを使ってサウンドを変更する

A-88MKII は、ダンパー・ペダル (DP-10: 別売) やペダル・ユニット (RPU-3: 別売)、エクスプレッション・ペダル (EV-5: 別売)、ペダル・スイッチ (DP シリーズ: 別売) が使えます。

※ エクスプレッション・ペダルを使うときは、専用アプリでの設定が必要です。

DAMPER Hold (CC # 64)

音を持続させるためにこのペダルを使用してください。このペダルを踏んでいる間は、鍵盤から指を離しても音が長く持続します。

FC2 Sostenuto (CC # 66)

このペダルを踏んだときに押している音は持続します。

FC1 Soft pedal (CC # 67)

このペダルは音を柔らかくするために使用されます。

※ 適用される効果は音源によって異なります。

メモ

演奏に表現を追加する (Expression Pedal)

鍵盤を弾きながら、エクスプレッション・ペダルを上げ下げしてください。

音量を変えることで、演奏をより表現力豊かにすることができます。

※ 例: FC2 端子に接続したエクスプレッション・ペダルを使って音量を調節する (エクスプレッション: CC # 11)

パッドにプログラム・チェンジ・メッセージを割り当てる (PROG CHG)

1. [PROG CHG] ボタンを押します。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら [FUNC] ボタンを押します。
割り当て可能なパッドが点滅します。
3. 割り当てたいパッドを押します。
4. 上に [NUMERIC (0 ~ 9)] と表示されている鍵盤を押して、プログラム・ナンバーを設定します。
設定範囲: 0 ~ 127
5. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

パッドにコントロール・チェンジ・メッセージを割り当てる (CC)

1. [CC] ボタンを押します。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら [FUNC] ボタンを押します。
割り当て可能なパッドが点滅します。
3. 割り当てたいパッドを押します。
4. 上に [NUMERIC (0 ~ 9)] と表示されている鍵盤を押して、コントローラー・ナンバーを設定します。
設定範囲: 0 ~ 127
5. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

パッドにノート・メッセージを割り当てる (NOTE)

1. [NOTE] ボタンを押します。
2. [SHIFT] ボタンを押しながら [FUNC] ボタンを押します。
割り当て可能なパッドが点滅します。
3. 割り当てたいパッドを押します。
4. 鍵盤を押してノートを選びます。
ノートは最大 4 音まで設定できます。
5. [NEXT] (ENTER) ボタンを押します。

鳴りやまない音を止める (PANIC)

操作中に接続した MIDI 音源の音が鳴りやまない、音がおかしいなどの症状がある場合には、リセット・メッセージを送信して症状を回避します。

1. [FUNC] ボタンを押します。
2. 上に [PANIC] と表示されている鍵盤を押します。
すべてのチャンネルのリセット・メッセージ (オール・サウンド・オフ、オール・ノート・オフ、リセット・オール・コントローラー) を送信します。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください（P.2）。

分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。

個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

次のような場所で使用や保管はしない

- ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・湯気や油煙が当たる場所
- ・塩害の恐れがある場所
- ・雨に濡れる場所
- ・ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・振動や揺れの多い場所
- ・風通しの悪い場所

指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推奨するスタンド（型番：KS-10Z、KS-12）を使用してください（P.2）。

不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド（型番：KS-10Z、KS-12）を使用する場合、ぐらつくような場所や傾いた場所に設置せず、安定した水平な場所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な場所に設置してください。

警告

スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置してください（P.2）。

正しく設置しないと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

指定の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず指定のものを、AC100V の電源で使用してください。

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。

- ・AC アダプター本体や電源コードが破損したとき
- ・煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- ・異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・機器が（雨などで）濡れたとき
- ・機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様が使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない
破損や故障の原因になります。

タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。

海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

注意

指定のスタンドのみ使用する

本機は当社製のスタンド（KS-10Z、KS-12）とのみ、組み合わせて使用できるように設計されています。他のスタンドと組み合わせて使うと、不安定な状態となって落下や転倒を引き起こし、けがをする恐れがあります。

スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドから本機が落下したりスタンドが転倒したりする可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。

電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。

定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。

電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

⚠ 注意

移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



⚠ 注意

お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



⚠ 注意

落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- AC アダプターは長時間使用すると多少発熱しますが、故障ではありません。
- AC アダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

設置について

- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

鍵盤の取り扱いについて

- ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ひどい汚れを落とすときは、研磨剤が入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷がつかないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がかからないように注意します。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。

知的財産権について

- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

MIDI Implementation Chart

Model: A-88MK2

Version: 1.00
Date: Nov. 1, 2019

Function...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	1,2,3 1- 16	x x	
Mode	Default Messages Altered	Mode 3 OMNI ON/OFF, MONO, POLY *****	x x x	
Note Number	: True Voice	0- 127 *****	x x	
Velocity	Note ON Note OFF	O (9n v=1-127) O (8n v=1-127), (9n v=0)	x x	
Aftertouch	Key's Ch's	x x	x x	
Pitch Bend		O	x	
Control Change	0-119	O	x	
Program Change	: True #	O (0-127) *****	x x	
System Exclusive		O	x	
System Common	: Song Pos : Song Sel : Tune	O O (0-127) O	x x x	
System Real Time	: Clock : Command	O O	O *2 x	
Aux Message	: All Sound Off : Reset All Controller : Local control : All Notes Off : Active Sense : Reset	O *1 (120) O *1 (121) O O *1 (123) O O	x x x x x x	
Notes		*1 Transmits when the Panic function is executed. *2 When the arpeggiator is operating.		

Mode 1 : OMNI ON, POLY Mode 2 : OMNI ON, MONO O : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO X : No